



なが おか市議会だより

236号
2025.9.1

編集・発行/長岡市議会

ホームページで議会の録画中継を配信中→<https://www.city.nagaoka.niigata.jp/shigikai/>

市議会の新体制がスタート

5月臨時会において、議長・副議長選挙が行われ、投票の結果、議長に池田和幸議員が、副議長に中村耕一議員が当選しました。選挙に当たっては、開かれた議会運営を行うため、議会基本条例に基づき所信表明会を実施しました。

このたび、議長選挙において、皆様のご支援により、第60代長岡市議会議長に当選いたしました、池田和幸です。歴史と伝統ある長岡市議会の議長という重責を担うに当たり、身の引き締まる思いであります。

市議会は、二元代表制の一翼を担う意思決定機関として、市政に対する監視と政策立案の責務を負っています。現在、不安定な社会情勢の影響により地方経済は依然として厳しい状況が続いており、物価高騰や人手不足などの課題は、経済活動のみならず市民生活にも大きな影響を及ぼしています。市民の皆様の不安を解消するため、経済対策や生活支援など議会と行政が連携し、一体となって取り組まなければなりません。また、子育てや教育環境の変化、高齢化や人口減少の進行など、地域が直面する課題は山積しています。変化する社会課題に迅速かつ柔軟に対応するため、新たな特別委員会の設置など、不断の議会改革に取り組んでまいります。

市民の皆様の声に真摯に耳を傾け、信頼される開かれた議会の実現に向けて全力を尽くすとともに、円滑で活発な議会運営に向けて努めてまいります。

皆様のご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます、就任のごあいさつとさせていただきます。



議長

池田和幸



副議長

中村耕一

このたび、副議長選挙におきまして皆様のご信任を賜り、第59代長岡市議会副議長に就任いたしました、中村耕一です。

長岡市議会は、先達のご尽力により築かれてきた歴史と伝統の上に成り立っています。その重みをしっかりと受け止め、時代の変化に的確に対応し、市民により近い議会を目指してまいります。

少子高齢化や人口減少により地域社会は大きく変化し、またウイルス禍やウクライナ侵略に伴う世界経済の混乱、物価高騰などが市民生活に深刻な影響を及ぼしています。加えて、災害への備えも今後ますます重要となりますので、市民の暮らしを守る防災力を強化し、地域の安全・安心を支える役割をしっかりと果たしてまいります。こうした厳しい現実に対し、議会には市民の声を的確に受け止め、生活に根ざした政策を導く責務があります。副議長として、対話と調整を大切にし、すべての議員の意見が尊重される、開かれた議会運営に努めてまいります。微力ではありますが、池田議長のもと、円滑かつ活発な議会の実現に力を尽くしてまいりますので、今後ともご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます、就任のごあいさつとさせていただきます。

6月定例会で 審議しました

6月定例会は6月10日から6月24日までの15日間の会期で行われました。令和7年度一般会計補正予算など市長提出議案等27件を審議しました。

議案等の審議結果は、5ページの「会派別議案等賛否一覧表」をご覧ください。

補正予算を可決

■物価高騰対応重点支援給付事業費	14億8291万6千円
■公共交通等確保維持事業費	495万円
■令和6年能登半島地震被災者生活再建支援金	50万円
■災害復旧事業費（融雪災害）	9520万円
■物価高騰対策事業	1億1509万円



提案理由の説明を行う磯田市長

議員表彰

全国市議会議長会および北信越市議会議長会から、永年にわたり市政発展に尽くした功績が認められ、5人の議員が表彰されました。



松井 一男 議員
(議員在職20年)

池田 和幸 議員
(議員在職10年)

五十嵐 良一 議員
(議員在職10年)

五井 文雄 議員
(議員在職30年)

大竹 雅春 議員
(議員在職10年)

<目次>

補正予算の概要、議員表彰	1
一般質問	2
常任委員会の所管事項に関する質問	4
常任委員会等委員の選出、会派別議案等賛否一覧表	5
市議会の活動状況、政務活動費収支報告	6



6月定例会 13人が一般質問

一般質問とは

議員が長岡市の市政全般について、市長をはじめとする執行機関等に対し、その執行状況や方針、また適正な実施がなされているかを問いただしたり、自身の所信を表明したりすることを目的とする質問をいいます。

一般質問は、定例会に限って認められ、提出された議案とは関係なく本会議で行われます。

なお、長岡市議会の一般質問では、質問の論点や争点を明確にし、執行機関から十分かつ正確な答弁を得ることで充実した能率的な議会運営を図るため、あらかじめ議長に質問の要旨を通告する「通告制」が採用されています。

また長岡市議会では、一般質問の在り方を長岡市議会基本条例で定めており、議員が一般質問を行うに当たっては、広く市民の市政に対する理解と関心を高めるように努めなければならないとされています。



豊田 朗
(市民クラブ)



持続可能な水道事業の 在り方について

問 浄配水施設および水道管の老朽化により想定されるリスクや、更新を進める上での課題について、市の認識を伺う。

答 水道施設の老朽化は断水のリスクを高め、仮に断水が生じた場合は市民生活のみならず、社会全体に重大な支障が生じると認識している。そのため、老朽管を適切かつ的確なタイミングで更新することが重要であり、人口減少下での小規模な集落への給水の在り方や、更新に必要な財源の確保が課題である。

問 老朽化が進む全ての水道管を一齐に更新することは

答 困難であると考え、更新事業を着実に進めていくための財源確保について、市の考えを伺う。

答 市では、職員数の削減など、経営努力によって20年改定を行わずに維持してきた。また、デジタル技術の活用等による選択と集中の対策を推進するなど、工夫を重ねている。しかし、断のコスト削減に努めてもお、更新には多額の投資が必要となる。厳しさを増す経営環境の中で安定的な財源の確保は避けて通れない課題であり、今後、水道料金の見直しに向けた検討に着手したいと考えている。物価高騰の中、苦渋の決断ではあるが、市民生活に欠かせない水道の安全・安心を守り、次世代に確実に引き継いでいくため、市民に理解と協力をお願いしたいと考えている。

●その他の質問
・中心市街地活性化基本計画と次期総合計画による今後のまちづくりについて



五十嵐 良一
(長岡令和クラブ)



柏崎刈羽原発の 再稼働問題について

問 二者択一に問題があると、市で約1万9千筆の署名が集まった県民投票条例案が否決されたことに対する市の見解を伺う。

答 県民投票条例案については、県議会が真剣に議論を重ねた結果であり、知事の意見を含め、尊重されるべきものと受け止めている。また、本市で約1万9千筆もの署名が集まったことは、柏崎刈羽原発に対する市民の関心の高さを表れと認識している。

子育て中の方が働きやすい
職場環境について



高橋 美里
(長岡令和クラブ)



共生社会の実現に向けた 特別支援教育と放課後支援の 在り方について

問 特別支援教育の在り方を問い直すことは、教育が果たすべき役割を見つめ直すことにつながると考えるが、長期的な展望も含めた市の見解を伺う。

答 現在、市では通級指導教室や特別支援学級など、多様な学びの場を設け、きめ細かな教育に取り組んでいる。その中で、障害のある子どもたちと通常の学級の子どもたちが交流する機会を教育課程に効果的に配置することや、学校外の学びの場での交流を大切にすることで、子どもたちが

問 企業が、仕事と育児を両立できる職場環境をつくることを支援するため、ながあかき方プラス応援プロジェクトにおいてどのような取り組みをしているか伺う。

答 今年4月から段階的に施行される改正育児・介護休業法では、企業に対し、育児期の柔軟な働き方を実現するためのテレワーク導入等の措置や、従業員への個別の意向確認の義務化、看護休暇の対象となる子どもの年齢の引き上げなどの拡充策が定められている。市では、社会保険労務士の資格を持つ相談員が企業を訪問し、法改正に伴う変更点や就業規則の策定に関するアドバイスをを行っている。

お互いに多様性を認め合い、一人ひとりが成長していけるよう努めていく。

フルインクルーシブ教育は、多様性を認め合う共生社会を目指す上で大切な理念だと考えている。しかし、障害のある子どもたちへの合理的配慮に必要な基礎的環境整備について課題が山積している。社会の情勢や他市の状況、先進的な事例を研究し、今後の取り組みを考えていく。

問 配慮を必要とする児童の放課後支援について、現状の評価と今後の方向性を伺う。

答 全ての子どもたちが、安全かつ一人ひとりの個性や状況に応じて適切に過ごせる環境が重要と考えており、従来から関係機関と連携し対応してきた。今年度はさらに、教育委員会内に所属を横断した多職種支援チームを結成し、さまざまな場面で連携し、支援している。今後も子どもを真ん中に、関係機関と連携して放課後支援の充実を図っていく。



服部 耕一
(共産党市議員)



柏崎刈羽原発の 再稼働問題について

問 知事の意見聴取にどのような考えで臨むのか。また、市民アンケートなどを実施し、市民の意思を把握した上で臨むべきと考えるが、市長の考えを伺う。

答 意見聴取では、県民意識調査の内容について、市民の意識をしっかりと把握できるように、不安や思いを酌み取れるような調査項目にし、調査数をできるだけ多くすることや、市町村の意向の取りまとめを含めた今後のプロセスを明確にすることなどを伝えようと考えている。



笠井 則雄
(共産党市議員)



医療・介護保険の 諸課題について

問 介護報酬引き上げおよび介護職員の処遇改善に対する市の認識と、全国知事会が国へ提出した緊急要望書に対する市の認識を伺う。

答 介護職員の給与は、全産業の平均と比べ依然として低い状況にあり、人材確保を図るためにもさらなる改善が必要と認識している。

緊急要望書の内容は、3年に1回の介護報酬改定では物価や人件費の上昇に速やかに対応できていないことや、中山間地域等での送迎に係る移動コストが十分に評価されていないことなどから、臨時

意識調査の長岡市民回答分の提供を要請し、今後の参考にしていきたいと考えている。

問 内閣府が作成した緊急時対応について、計画通り実行できるか検証する必要があると考えるが、市の受け止めと今後の対応を伺う。

答 原発が存在し核燃料がある限りは、緊急時対応案を充実と強化に向けた取り組みが必要不可欠であると認識している。今回の緊急時対応案は、現時点での防災対策等をまとめたものである。その後の会議等で多くの市町村から実効性の向上を求める意見が出されている。今後、大雪時の除雪等における民間事業者との協力体制の構築など、より実効性を高める努力が必要になると考えている。市としても、国や県と連携していきたい。

●その他の質問
・市内企業への支援について
・磁気ループについて

スポーツ施設の整備について

問 長岡市営陸上競技場に冬の期間のウォーミングアップ場となる室内練習場の設置が要望されており、トイレなどの水回りの改修と併せて設置すべきと考え、市の見解を伺う。

答 室内練習場や水回りの整備が陸上競技関係団体等から要望されていることは承知している。今後、長寿命化や機能向上を進めながら維持していくスポーツ施設については、より多くの競技種目の利用など複合的な活用を図ることを前提にそれぞれの施設の充実を検討していく。

●その他の質問
・長岡空襲80年における平和への取組について
・困難な問題を抱える女性支援について



議会の臨場感をスマホでも！

各議員の顔写真の右下に二次元コードを掲載しています。スマートフォンやタブレットで二次元コードを読み取ると、それぞれの議員の一般質問を動画でご覧いただけます。



池田 明弘
(長岡市公明党)

戦災資料館のリニューアルについて

問 長岡空襲の展示に加え、貧困や差別など、人の尊厳や生命を脅かす社会の仕組みに関する展示を導入することで平和の根源を深く理解できるように考えるが、市の見解を伺う。

答 長岡戦災資料館は、空襲によって尊い命と財産が奪われた悲惨な歴史と記憶を将来にわたって長岡のまちに深く刻み込むための施設として開館し、長岡空襲の史実に基づいて戦争と平和について考えることができる展示内容としている。移転後も、この基本的な考え方の下、空襲の実相や戦火をくぐり抜けてきた資料が、

今の私たちにより深く語りかける工夫をしたいと考えている。

不育症支援について

問 子どもを授かるまでのすべての段階で包括的な支援を提供するため、現行の不妊治療費助成事業に加え、不育症治療費支援の導入に向けた検討を進めるべきと考えるが、市の考えを伺う。

答 不妊治療による妊娠がゴールではなく、出産に至るまで切れ目のない一体的な支援が必要であると考えている。そのため、妊娠から育児まで切れ目のない支援を掲げる長岡版ネウボラの一層の充実を図っていく。

問 不育症治療費支援の導入に向けた具体的な運用については、他自治体の状況や不妊治療費助成事業の実績、当事者の声などを踏まえ、不妊治療費助成事業の運用方法と併せた支援体制を検討していく。

●**その他の質問**
・市の車両の一元管理による地域公共交通の課題解決について



長坂 将志
(共産党市議団)

国の米価高騰問題と長岡市が見据える地域農業について

問 消費者と生産者が互いにプラスとなるような米の需給バランスと政府備蓄米の放出、消費者米価について市の考えを伺う。

答 米価高騰は、需要に対して供給が足りていないことが要因であると考えている。国は、供給不足を補うために、備蓄米の放出によって店頭価格の値下げを目指しているが、すでに高値で仕入れた銘柄米を値下げして販売するとは考えにくく、年間消費量からしてもその効果は一時的なもの

で予断を許さないと感じている。日本の農業は大きな転換期を迎えているが、市としては、誇りと自信を持って作った長岡産米がこれからも地域の宝として多くの方々から愛され、消費され、それを生産する高い技術と消費者が存在すれば、長岡の農業は発展し続けることを確信している。今後も、地域一体となって応援していきたいと考えている。

問 農家の所得補償・米の価格保障制度の確立を政府に強く求めてもらいたい、市の考えを伺う。

答 生産者が安心して農業に取り組むためには、生産コストが反映された再生産可能な価格形成が重要であり、所得補償・価格保障制度の確立も選択肢の一つであると考えられる。現在は、国が合理的な価格形成に向けた法整備や仕組みを検討しているため、今後の動向を注視していく。

●**その他の質問**
・物価高騰対策について



多田 光輝
(市民クラブ)

空き家等の対策について

問 現行の空き家バンク利用促進の補助事業に加え、さらなる利用を促す新規事業などの構想はあるのか、市の考えを伺う。

答 空き家バンク登録・成約促進事業補助金は、空き家バンク登録物件購入者に対し、リフォーム費用等を補助している。これまでの実績を踏まえ、さらなる利用促進を図っていく。

問 八十里越の開通を契機として、栃尾地域だけでなく長岡全体の観光振興と交流人口の拡大を図ることが重要と考えるが、市の考えを伺う。

●**その他の質問**
・長岡市過疎地域持続的発展計画について



笠井 綾華
(長岡令和クラブ)

子どもを守る性教育と支援の在り方について

問 学校での性の健康講座に施できるよう支援の拡充が必要と考えるが、市の考えを伺う。

答 性の健康講座は、令和6年度から開始した新しい事業であり、希望する保育園や小・中学校などに外部講師を派遣している。どのようなニーズがどこにどの程度あるのかを見極めていく必要があると考えている。今後、保育園や学校現場などにおける実情を踏まえながら、より効果的な事業の在り方について検討していく。

プレコンセプションケアの認知度は低く、保健、教育、福祉の各分野で共通認識を持つことが必要であり、庁内へ幅広く啓発していく必要があると考えるが、市の考えを伺う。

答 プレコンセプションケアは、今年5月にこども家庭庁が推進5か年計画をまとめており、今後、国としても正しい知識の普及と相談支援の充実に向け、推進していくものと考えている。

一方、プレコンセプションケアの認知度が低い現状に対し、市としてどのような取り組みを進めていくのか定まっていらないのが現状である。プレコンセプションケアの概念は、人権の尊重や男女共同参画の意識啓発にもつながるものと考えており、今後の国の動向や他自治体の取り組みなどについて情報を収集し、まずは庁内の関係部局間で理解を深めていきたい。



衣川 広志
(無所属)

次期持続可能な行財政運営プランにおける情報公開について

問 見直しを行った事務事業についてのデータ公表が必要であると考えるが、市の見解を伺う。

答 現行の持続可能な行財政運営プランは今年度で計画期間が終了し、引き続き次期プランを今年度中に策定し、令和8年度からスタートする。そのため、限られた時間で策定作業を効率的に行う必要がある。次期プランの策定に当たっては、市政の透明性と信頼性を高めることはもちろん、効率性の観点からもデータ公開の

効率的な経済政策について

問 過去に増税された税率が維持されている法人市民税の法人税割を標準税率まで下げることが妥当と考えるが、市の考えを伺う。

答 法人税割の税率は、標準税率と各自自治体で独自に基準を上回って課税できる上限の税率の両方が定められており、本市を含む多くの自治体で基準を上回る税率が採用されている。また、法人市民税は、地域経済の活性化等に、企業活動に直接関わる取り組みに限らず、道路整備や医療、福祉、子育て支援等の財源として幅広く活用されている。仮に標準税率で課税した場合の減収は、本市では5億円強と見込まれ、市民生活に必要な財源が大きく不足するおそれがあり、経済理論の面だけで現在の税率の妥当性を判断することはできない。

●**その他の質問**
・街路樹の管理について



大竹 雅春
(無所属)

指定管理者制度の見直しについて

問 これまでの効果と今後の課題を伺う。

答 本市では、平成18年度から公の施設の管理運営において、民間事業者のノウハウの活用によるサービスの向上と管理の効率化を目的に指定管理者制度を導入している。制度導入の効果として、指定管理者による施設の開館時間の延長や独自イベントの開催等、市民の利便性や満足度の向上に寄与する取り組みが進められ、また、市が直接運営する場合と比べて一定の経費節減も図られている。課題としては、人口減少や施

問 施設の老朽化が進む中、指定管理者の工夫によっても利用者や利用料金の増加が図りにくくなっていることや、指定管理者の募集に対する応募が少ないことが挙げられる。

答 制度の見直しについては、施設運営により収支黒字が生じた場合、指定管理者側にも一定の収支黒字が確保されるようにする利益還元納付金制度を令和2年度から試行的に導入している。また、3年度には一定の要件を満たした場合、指定期間を短期間延長できる運用とした。加えて、公募や選定に係る事務をより詳細に追求するなど、公平性と透明性の確保に向けて随時運用指針の改定を行っている。今後も、指定管理者の創意工夫がより生かされるよう、制度の改善に努めていく。

●**その他の質問**
・長岡市過疎地域持続的発展計画について



関 貴志
(無所属)



柏崎刈羽原発の再稼働問題について

問 磯田市長は、県が公表した柏崎刈羽原発で重大事故が発生した場合の被ばく線量シミュレーションの結果に対し、万が一でも福島第一原発事故並みの過酷事故が起こる可能性があるのであれば、そうした事故を想定したシミュレーションを公表すべきとの見解を示した。市長の見解を踏まえ、県に対し、福島第一原発事故並みの事故を想定したシミュレーションを求めるべきと考えるが、市の見解を伺う。

答 本シミュレーションは、避難や屋内退避の効果を示すことにより、避難計画への県民



金子 陽奈子
(市民クラブ)



農業政策について

問 米価に対する認識および需要と供給のバランスについて、市の考えを伺う。

答 米価については、生産コストを上回り、再生産可能な利益が得られる価格で安定することが望ましい。一方で、消費者にとつては、急激な米価高騰は受け入れられない。米の需要と供給のバランスが取られ、生産者と消費者の双方が納得できる米価が実現されることが、米の生産を守り、異常な米価高騰の是正につながっていくと考える。

今年の本市の作付計画では、主食用米は約3%の増産を見込んで

の理解向上を図るために実施したものである。この結果を県民説明会等で市民がどのように受け止めるかを把握した上で、県に対し、市民の疑問に丁寧な説明と周知を尽くすよう引き続き求めていく。

問 磯田市長は、市民の不安が解消されない限り、柏崎刈羽原発は再稼働すべきでないとの公約を掲げており、その実現手段として、市は本市の再稼働の是非に対する判断を知事の判断に反映させる旨の答弁を繰り返してきた。こうした答弁を踏まえ、知事が県民の意向を把握するために実施する首長懇談会において、知事に対し、本市の再稼働の是非に対する判断に従ってもらい確約を取るべきと考えるが、市の見解を伺う。

答 首長懇談会の内容が不明であり、また他自治体の首長とも意見交換を行う場であることから、知事に確約を求める発言が会議の趣旨にそぐうのかを判断できない。

おり、米どころ長岡としては加工用米のニーズにも応えることを目指していく。今後も本市の農業が未来につながるよう、関係者と協力して取り組んでいく。

問 公共施設の利用料金の改定および指定管理者のモチベーションの維持向上に向けた取り組みについて、市の考えを伺う。

答 近年の物価高騰により、営費等が大幅に増えている一方で、大半の施設の使用料は長年据え置かれたままになっている。今後、利用実態等に見合った受益者負担の在り方などを検討していく。

また、管理運営の工夫で収支黒字が生じた場合に、指定管理者にも一定の収支黒字が確保されるようにする利益還元納付金制度を令和2年度から一部施設で試行的に導入している。今後、制度の検証や適用施設の拡大を前提とした検討も行っていく。

6月定例会 常任委員会の所管事項に関する質問

総務委員会

- 基金の運用の現状および運用状況に関する今後の公開予定
- 補正予算財源に用いる繰越金の規模および当初予算計上に対する市の見解
- 地域交流拠点施設の整備と今後の機能に関する市の見解
- 県から市への事務・権限の委譲の仕組みと利点、具体的な事例
- 災害対策基本法改正の意義と被災者支援強化、備蓄品配置と防災DXの取り組み
- 柏崎刈羽原発の再稼働に係る県民意識調査および知事懇談会に関する市の見解

ほか

産業市民委員会

- 消防団活動の現状と今後の方針
- 各地域の特性を生かし、連携した施策とその発信
- 震災時の消防団員の初動体制と119番混雑への対応
- 本市農業の現状と適正な米価
- 地域農業の担い手集積・集約の現状と今後の方針
- 大規模な企業誘致に向けた環境整備の現状
- リチウムイオン電池の処理状況と今後の取り組み

ほか

文教福祉委員会

- 総合支援学校における教室不足への対応
- 生活保護受給者の自動車保有の要件緩和に対する市の見解
- 学校統合を含む将来を見据えた市立学校の規模適正化に対する市の見解
- 二十歳のつどいの今後の開催方法
- 学校給食における物価高騰の影響
- 小学生への部活動の地域移行に係る情報提供および参加意欲を高める働きかけ

ほか

建設委員会

- 水道料金見直しによる市民や事業者への影響
- 持続可能な水道事業に向けた経営改善策
- 屋根雪下ろし命綱固定アンカー設置補助金制度の利用状況と制度普及
- 水道局職員の技術継承に関する現状と課題
- 橋りょう維持管理の現状と今後の方針

ほか

9月定例会の日程

9	10	11	12	16	17	18	19	24	25	26	30
火	水	木	金	火	水	木	金	水	木	金	火
議会運営委員会	本会議(※)	本会議(※)	本会議(※)	文教福祉委員会	建設委員会	産業市民委員会	総務委員会	決算審査特別委員会	決算審査特別委員会	決算審査特別委員会	本会議(最終日) 議会運営委員会

(※) 9月10日(水)～12日(金)の本会議は、一般質問者の人数により日程が短縮される場合があります。



傍聴席



親子傍聴席

市議会を傍聴してみませんか

本会議や委員会は公開されており、誰でもその様子を見ることができます。お気軽にお越しください。

本 会 議

- ・開 会 午後1時
- ・傍聴受付 午後0時30分からアオーレ長岡西棟2階(傍聴受付)にて
- ・定 員 65人、車いす席2人、親子傍聴席10人

議会運営委員会

- ・開 会 午前11時30分
- ・傍聴受付 午前11時からアオーレ長岡西棟4階(議会事務局)にて
- ・定 員 12人

その他委員会

- ・開 会 午前10時
- ・傍聴受付 午前9時30分からアオーレ長岡西棟4階(議会事務局)にて
- ・定 員 12人

新しい委員を選任しました

5月臨時会において、議会運営委員会及び常任委員会の委員を選任しました。◎委員長 ○副委員長

議会運営委員会

(定数12 現員12)
議会運営に関連する事項を協議

◎田中 茂樹
金子陽奈子
池田 明弘

○五十嵐良一
笠井 綾華
加藤 尚登

神林 克彦
丸山 広司

豊田 朗
丸山 勝総

服部 耕一
酒井 正春

総務委員会

(定数10 現員8)
地方創生推進部、DX推進部、総務部、財務部、危機管理防災本部、
原子力安全対策室、地域振興戦略部などに関連する事項を審査

◎多田 光輝
笠井 綾華
松井 一男

○笠井 則雄
加藤 尚登
水科 三郎

関 充夫
藤井 達徳

文教福祉委員会

(定数8 現員8)
福祉保健部、教育委員会に関連する事項を審査

◎豊田 朗
高橋 美里
中村 耕一

○二ツ家 和樹
服部 耕一
桑原 望

丸山 広司
酒井 正春

産業市民委員会

(定数8 現員8)
市民協働推進部、環境部、商工部、観光・交流部、
農林水産部、消防本部などに関連する事項を審査

◎松野憲一郎
三澤 寛人
山田 省吾

○金子陽奈子
長坂 将志
関 正史

田中 茂樹
丸山 勝総

建設委員会

(定数8 現員8)
都市整備部、中心市街地整備室、土木部、水道局に
関連する事項を審査

◎神林 克彦
衣川 広志
五十嵐良一

○波多 恵理
池田 明弘
関 貴志

大竹 雅春
五井 文雄

※5月16日付けで、大河津分水・長岡東西道路整備推進特別委員会委員の池田和幸議員が辞任し、新たに丸山勝総議員が委員に選任されました。

人権擁護委員の推薦に同意

6月24日の本会議最終日において、
次の方を推薦することに同意しました。

しみず
清水 めぐみ氏
せきね
関根 ともこ氏
のじま
野島 けんじ氏

あべ
阿部 節子氏
とおやま
遠山 れいこ氏

せつこ
節子氏
れいこ
礼子氏

監査委員を選任



5月臨時会において
監査委員（議会選出）
の選任議案に同意しま
した。
丸山 広司 議員
(令和7年6月1日就任)

会派別議員名簿（6月24日現在）

市民クラブ	田中 茂樹 多田 光輝 波多 恵理 加藤 尚登 松井 一男 五井 文雄	豊田 朗 金子陽奈子 二ツ家 和樹 丸山 広司 丸山 勝総
長岡令和クラブ	神林 克彦 高橋 美里 五十嵐良一 関 充夫	松野憲一郎 笠井 綾華 山田 省吾
共産党市議団	笠井 則雄 長坂 将志	服部 耕一
長岡市公明党	池田 明弘 藤井 達徳	中村 耕一
市民さわやかクラブ	関 正史	酒井 正春
無所属	A 三澤 寛人	
	B 衣川 広志	
	C 大竹 雅春	
	D 桑原 望	
	E 水科 三郎	
	F 関 貴志	
	G 池田 和幸（議長）	

会派別議案等賛否一覧表

6月定例会

議 案 等				市 民 ク ラ ブ (11)	長 岡 令 和 ク ラ ブ (7)	共 産 党 市 議 団 (3)	長 岡 市 公 明 党 (3)	市 民 さ わ や か ク ラ ブ (2)	無 所 属 A	無 所 属 B	無 所 属 C	無 所 属 D	無 所 属 E	無 所 属 F	議決結果			
市 長 提 出 議 案 等	補 正 予 算	令和7年度一般会計	ほか1件	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決		
	条 例	職員の勤務時間、休暇等に関する条例及び職員の 育児休業等に関する条例の一部改正		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決	
		市税条例の一部改正		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決	
		家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準 を定める条例及び特定教育・保育施設及び特定 地域型保育事業の運営に関する基準を定める条 例の一部改正		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決	
	そ の 他	市道路線の認定		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決	
		契約の締結（幸町分室解体工事）		ほか8件	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
		財産の取得（宮内小学校給食備品）		ほか10件	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
	人 事	人権擁護委員の推薦		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	同 意	

5月臨時会

議案		会派名 ()は所属議員数		市民 クラブ (11) ※	長岡 令和 クラブ (7)	共産 党市 議団 (3)	長岡 市公 明党 (3)	市民 さわ やか クラブ (2)	無所 属 A	無所 属 B	無所 属 C	無所 属 D	無所 属 E	無所 属 F	議決結果
市長提出議案	専決処分	専決第11号 市税条例の一部改正 専決第12号 都市計画税条例の一部改正		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	承認
	補正予算	令和7年度一般会計		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
	その他	財産の取得（テント式パーテーション 3,300張）		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
		財産の取得（簡易ベッド 3,300台）		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
	人事	監査委員の選任		○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	同意

※二ツ家議員は欠席

市議会の活動状況

5月		
	8日	議会運営委員会
5月臨時会	12日	議会運営委員会
		本会議（臨時会）
		産業市民委員会
		総務委員会
6月		
	6日	議会運営委員会
6月定例会（15日間）	10日	議会運営委員会
		本会議（招集日）
	11日、12日	本会議
	17日	建設委員会
	18日	産業市民委員会
	19日	文教福祉委員会
	20日	総務委員会
	24日	議会運営委員会
		大河津分水・長岡東西道路整備推進特別委員会
		文教福祉委員会
		総務委員会
		本会議（最終日）
7月		
24日	大河津分水・長岡東西道路整備推進特別委員会	
	大河津分水・長岡東西道路整備推進特別委員会現地視察	
25日	議員協議会	
8月		
	8日	議会運営委員会

7月24日 特別委員会が現地視察を実施



長岡ニュータウン連絡道路での視察の様子

大河津分水・長岡東西道路整備推進特別委員会では、長岡東西道路関連道路の整備状況を確認するため、現地視察を行いました。

<<視察行程>>

長岡ニュータウン連絡道路
→ 大積スマートIC（仮称）

8月1日 長岡市平和祈念式典に出席

長岡市主催の「長岡平和祈念式典」がアオーレ長岡のアリーナを会場に開催されました。

県内唯一の大規模戦災都市として戦没者を追悼し、平和の尊さを世界に発信するため、式典の始めに黙とうがささげられた後、池田議長のあいさつや戦災殉難者遺族代表等による献花、長岡空襲体験者のお話、広島平和記念式典派遣中学生による平和の誓いなどが行われました。



式典で挨拶する池田議長

8月1日 中越地区市議会合同議員研修会に参加



蓮池薫氏の講演の様子

毎年、中越地区の市議会議員が一堂に会して合同研修会を行っています。

今年は、柏崎市産業文化会館で開催され、新潟産業大学経済学部特任教授の蓮池薫氏から「拉致問題の真相と現情勢下における問題解決の条件」と題した講演がありました。

令和6年度
政務活動費収支報告

政務活動費とは、議員の調査研究活動の充実を図るために必要な経費の一部を補助するものです。本市では、議員1人当たり月額6万円を会派に交付しています（会派に属していない議員は、所属議員が1人の会派を結成しているものとみなして交付しています）。領収書等の証拠書類の写しは、アオーレ長岡（東棟）3階の庶務課情報公開コーナーおよび市議会ホームページでご覧いただけます。

（単位：円）

会 派 名		市民クラブ (11人)	長岡令和 クラブ (7人)	日本共産党 長岡市議会 議員団 (3人)	長岡市 公明党 (3人)	無所属 クラブ (3人)	市民さわやか クラブ (2人)	無所属 (三澤 寛人)	無所属 (衣川 広志)	無所属 (大竹 雅春)	無所属 (桑原 望)	無所属 (水科 三郎)	無所属 (関 貴志)	無所属 (加藤議長)	合 計
収入の部	政 務 活 動 費 ①	9,360,000	3,720,000	2,160,000	2,160,000	1,980,000	960,000	720,000	60,000	360,000	720,000	720,000	720,000	720,000	24,360,000
	雑 入 ②	1,832	727	44	340	623	255	173	0	98	99	142	220	72	4,625
	合 計 ③	9,361,832	3,720,727	2,160,044	2,160,340	1,980,623	960,255	720,173	60,000	360,098	720,099	720,142	720,220	720,072	24,364,625
支出の部	調査研修（研究）費	5,319,798	1,558,074	245,240	922,350	987,567	465,192	75,465	45,120	234,118	55,500	210,348	93,903	351,200	10,563,875
	広 報 広 聴 費	1,120,890	1,175,615	1,397,746	329,392	5,000	3,300	0	0	55,000	306,900	0	306,691	0	4,700,534
	要 請 ・ 陳 情 活 動 費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	資 料 費	852,928	520,848	222,022	188,040	110,000	86,490	78,034	0	16,000	58,890	161,380	49,550	137,548	2,481,730
	情 報 通 信 費	754,415	239,497	67,068	386,491	61,479	95,319	50,909	1,863	52,480	112,356	73,168	48,761	148,643	2,092,449
	人 件 費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	事 務 所 費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	84,000	0	0	0	84,000
	事 務 費	533,677	214,696	199,585	334,067	13,083	85,428	19,284	0	2,500	49,881	27,342	9,330	82,681	1,571,554
	合 計 ④	8,581,708	3,708,730	2,131,661	2,160,340	1,177,129	735,729	223,692	46,983	360,098	667,527	472,238	508,235	720,072	21,494,142
収支差引残額 ③－④		780,124	11,997	28,383	0	803,494	224,526	496,481	13,017	0	52,572	247,904	211,985	0	2,870,483

※収支差引残額は、市に返還されます。雑入の内訳は、全て預金利息です。
※無所属クラブは、会派の解散に伴い令和7年3月3日付けで収支報告書（令和6年4月～2月分）を提出し、収支差引残額は市に返還済みです。なお、令和7年3月から高橋議員および笠井綾華議員は長岡令和クラブに所属、衣川議員は無所属となりました。

